

「教育ボランティア ニュースレター」は年2回発行しています。第7号ができましたので、お届けいたします。

# 教育ボランティア ニュースレター

第7号

発行日 平成22年10月

## 教育ボランティアの皆さんからいただくアドバイスは学生の「生きた学び」になっています！！

今年度も、多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただけております。

このレターでは、「基礎看護技術演習」と「健康新生活支援学演習」での教育ボランティアさんの様子や学生の学びをお届けしたいと思います。

「教育ボランティア」さんは、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 健康支援地域連携センター；北川（078-794-8080：学校代表番号）までお願いします。

編集・発行  
神戸市看護大学  
健康支援地域連携センター  
教育・研究部門 ニュースレター

平成22年7月12日（月）に、4名の教育ボランティアさんにご協力いただき、「基礎看護技術演習；コミュニケーション技術」を行いました。この演習では、患者さんにジュースをいただくという、学生が病院実習で時々遭遇する場面を設定し、患者さんと看護師の関係形成に必要な関わる方やコミュニケーション技術を学びました。学生は、患者さんから物をいただくことは良くないことだと理解していましたが、患者さんの好意を無駄にしないように上手にお断りする対応方法がわからず、つい受け取ってしまうという場面もありました。また、患者さん役になっていた教育ボランティアさんも、「ジュースを渡すことについて、最初は、自分の患者としての気持ちだけを考えていたが、他の患者さんへ

の配慮や、今後の看護師との関係への影響などがわかり考えさせられた」と仰っていただきました。患者さんとの良い人間関係を築くことは、看護上とても大切なことですが、若い学生にとってはとても難しいこともあります。教育ボランティアさんとのコミュニケーションは、学生にとっては患者さんとのコミュニケーションと同じ。学生はとても緊張していましたが、その分リアリティのある貴重な学びができていました。



【コミュニケーション演習の様子】

## 「健康新生活支援学演習」で健康教育を開催！！ 受講者としてのボランティアさんからの学び

平成22年7月21日（水）「健康新生活支援学演習」で、学生が企画した生活習慣病予防、健康づくり、介護予防などの健康教育の対象者となっていました。

学生は、ボランティアさんにご参加いただけることで企画・実施にも力が入っていました。ボランティアさんからの質問は、学生達が予測していなかった視点もあり、住民の皆様に分かりやすい健康教育を行うための良い学びになりました。



【健康教育の様子】

また、ボランティアの皆さんからは、「参加して楽しかった」「役に立った」などのご意見をいただき、健康教育に参加することで、新たな知識を得る機会にもしていただけたようです。